

# 1 一 般 会 計

## ( 1 ) 議 会 施 策

### ① 議 会 費

事 業 名	決算額(千円)	成 果 説 明
海外視察研修事業	526	北信越市議会議長会のオーストラリア、ニュージーランドの視察研修に1名を派遣した。政治、経済等について調査研究し、視野を広めることによって、議会活動に役立てることができた。
議会だより発行事業	2,501	市民に議会活動の状況をわかりやすく広報した。また、次回定例会の案内を事前に行い、議会への関心を高めるよう努めた。
政務調査費交付事業	7,200	議員の調査研究活動のため、会派及び議員個人に政務調査費を交付した。本会議や委員会での提言、質問、意見等に反映された。

## ( 2 ) 総 務 施 策

### ① 職 員 研 修 費

職員研修事業	5,971	時代に即応した人材育成及び職員の「やる気」を重視し、自分で参加したい研修(公募型)を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ自主研修 2団体 26名</li> <li>・公募型研修 受講者数 131名</li> </ul>
--------	-------	--

### ② 広 報 費

広報・広聴事業	32,417	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報しばた <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間発行回数：24回(朔1日・15日)</li> <li>・年間ページ数：502 ページ</li> </ul> </li> <li>○ エフエムしばた <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急放送回数：90回</li> <li>・通常番組：情報ボックス、情報ランド、スポット放送、イベント告知</li> </ul> </li> <li>○ ホームページ <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス件数：12,385件/月</li> </ul> </li> <li>○ 市政懇談会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：2回</li> <li>・参加者数：50人</li> </ul> </li> <li>○ 市長への手紙 <ul style="list-style-type: none"> <li>・184件</li> </ul> </li> </ul>
---------	--------	--

### ③ 企 画 費

中々山、山内、小戸、上車野地域給水事業	1,208	水源調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下地質の状況を検討するため垂直電</li> </ul>
---------------------	-------	--

市町村合併推進事業	4,863	<p>気探査を実施（5カ所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査期間 7月16日～9月30日</li> </ul> <p>豊浦町及び紫雲寺町、加治川村との合併協議の状況について、広報、ホームページ等により市民に情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊浦町との合併説明会（8月5日～10日） 市内12会場で開催、延べ187名の出席</li> <li>・豊浦町との合併協議報告書を全戸配布</li> </ul> <p>豊浦町との合併を推進するため、行財政の調整と建設計画の策定を行うとともに、住民への情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の開催 4回</li> <li>・委員会の開催 6回</li> <li>・協議会だより発行、電算基幹システムの事前調査委託</li> </ul>
新発田市・豊浦町合併推進協議会運営事業	7,248	<p>推進協議会での協議結果を基に、合併協定書と合併まちづくり計画の策定を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の開催 3回</li> <li>・11月6日合併協定調印式を実施</li> <li>・ホームページ更新、協議会だより発行</li> </ul>
新発田市・豊浦町合併協議会運営事業	3,852	<p>推進協議会での協議結果を基に、合併協定書と合併まちづくり計画の策定を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の開催 3回</li> <li>・11月6日合併協定調印式を実施</li> <li>・ホームページ更新、協議会だより発行</li> </ul>
新発田市・紫雲寺町・加治川村合併推進協議会運営事業	11,593	<p>紫雲寺町、加治川村との合併を推進するため、行財政の調整と建設計画の策定に着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の開催 3回</li> <li>・ホームページ開設、協議会だより発行</li> </ul>
行政評価システム構築事業	30,910	<p>「まちづくり総合計画」と連動した行政評価システムを構築するため、行政評価に係る各種研修会等を実施し、施策・基本事業の現状値把握と目標値の設定を行った。</p> <p>また、平成13年度決算を受け、平成13年度施策・基本事業評価及び平成13年度事務事業評価の事後評価結果を10月に公表し、行政評価による平成15年度当初予算への反映状況について、平成15年4月にホームページで、平成15年5月に広報しばたで公表した。</p>
核兵器廃絶平和都市宣言事業	660	<p>広島平和記念式典に中学生8名を派遣し、平和に対する意識の高揚を図り、参加者全員の感想文を公報に掲載し、市民の意識高揚を図った。</p>
女性政策推進事業	1,254	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新発田女性行動計画基本計画編の見直しを実施（しばた男女共同参画推進プランに改称）。</li> <li>○男女共生市民講座(162名受講)、しばた女と男のフェスティバル(300名参加)等、男女共同参画社会形成に向けた意識啓発事業を実施した。</li> </ul>
コミュニティづくり推進事業	3,164	<p>コミュニティ活動を支援するため、豊町3・4丁目コミュニティほか3団体に備品購入費等の一部を助成。</p>

公会堂等建築補助事業	11,777	下小出自治会ほか11の自治会に公会堂の新築、改築等工事費の一部を助成。
新発田市・加賀市友好都市交流補助事業	200	バスケットボール協会が6月29日、30日に加賀市と交流したときのバス借り上げ料の一部を助成。
コミュニティセンター建設事業	288,954	<ul style="list-style-type: none"> <li>○猿橋コミュニティセンター 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 3階建、延床面積 3,639.45 m<sup>2</sup> 平成15年4月開設</li> <li>○豊町ふれあいコミュニティセンター 木造、2階建、延床面積 308.37 m<sup>2</sup> 平成15年4月開設</li> </ul>

#### ④ 生涯学習費

生涯学習センター事業	8,784	<p>市民に広く学習の機会を提供し、生きがいのある生活が出来る様、各種の講座、セミナーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイリス大学（全7回、受講者148人）をはじめとし、ピアノ教室、英会話講座、音楽セミナー、パソコン教室等各種講座開催や敬和学園大学、新潟職業能力短期大学などとの連携講座も開催した。</li> <li>・生涯学習センター利用者数76,939人</li> </ul>
IT講習事業	6,836	<p>IT社会に適応出来るよう、基礎技能パソコン教室を引き続き開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全78回、受講者618人</li> </ul>

#### ⑤ 市民ギャラリー運営事業費

市民ギャラリー運営事業	3,679	<p>市民の創作成果を気軽に発表する場所と機会を提供し、作品展示を通じて障害者、高齢者、健常者の交流、仲間づくりを支援した。</p> <p>展示回数40回、来館者総数11,297人</p>
-------------	-------	--

#### ⑥ 国際交流推進費

新発田市国際交流事業	160	新発田中国語研究会が9月22日と2月5日に実施した国際交流活動経費の一部を助成。
------------	-----	--

#### ⑦ 電子計算費

行政情報システム再構築事業	146,688	<p>豊浦町との電算基幹システム統合及び税法改正等に対応し、電算システムの改造を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊浦町との電算基幹システム統合に係るシステム設計及び開発作業委託 137,970千円</li> </ul>
---------------	---------	--

住民基本台帳ネットワークシステム構築事業	9,637	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 税法改正に伴う固定資産税システムほかシステム改造委託等 8,718千円</li> <li>住民基本台帳ネットワークシステムの構築を行った。 平成14年8月…1次稼動) 平成15年8月…2次稼動) への対応</li> </ul>
----------------------	-------	--

⑧ 情報システム構築事業費

情報化推進事業	32,462	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 庁内システムの維持管理及び庁内LANパソコンの配備を行った。 平成14年度 199台パソコン配備 計 308台稼動 (稼働率62%)</li> <li>○ 新発田市情報化基本計画を策定し、冊子及びホームページで公開した。</li> </ul>
---------	--------	--

⑨ 交通安全対策費

交通安全教育と安全思想の普及事業	7,723	多発している交通事故の根絶をめざし、警察・交通安全関係機関・団体と協力し、交通安全活動に努めるとともに、市民の交通ルール、マナーの向上を図った。
放置自転車対策事業	3,766	新発田駅周辺の公共の場所における自転車等の放置を防止し、交通の円滑化及び良好な生活環境の保全を図った。また、市営自転車等駐車場の整理を行い、利用者の利便を図った。

⑩ 人権擁護費

人権啓発推進事業	929	啓発活動の推進に向けて、マナビィ・人権フェスティバル事業(2,273名参加)、人権学習会講師派遣事業(10団体)、人権講演会(参加者 233名)等人権啓発事業を実施した。
----------	-----	---

⑪ 庁舎建設基金費

庁舎建設基金積立事業	100,000	老朽、狭あい化している庁舎の新築に備えて、引き続き建設準備基金の積立を行った。 平成15年3月末現在高 1,064,489千円
------------	---------	--

⑫ 財産管理費

「福祉のまちづくり条例」に係る本庁舎改修事業	4,778	高齢者や障害者が安全に市庁舎を利用できるように、エレベーターやトイレ等の改修及び階段手摺の整備を行った。
------------------------	-------	--

⑬ 賦課徴収費

過年度台帳管理システム事業	3,192	公正かつ適正な賦課事務の執行並びに事務の効率化、迅速化の推進のため、過年度台帳管理、市民税及び固定資産税過年度賦課更正事務の充実を図った。
新 路線価算定システム開発事業	3,623	固定資産税の評価替えに付随する既存、新規路線の路線価評定及び資産評価システム研究センターの路線価等業務管理システムへのデータ入力を行い、事務の効率化及び既存システムと連携した情報の有効活用を図った。
固定資産税地図情報システム事業	4,729	固定資産税評価事務の効率化と窓口業務の迅速化を推進するとともに、関連する業務間での地図情報の相互運用を図った。

⑭ 戸籍住民基本台帳費

戸籍総合システム事業	1,886	戸籍の一部システムにより、戸籍の記載及び除籍の検索をマイクロフィルムで行い、正確かつ効率的な処理により市民サービスの向上を図った。
窓口システム事業	3,951	窓口事務の迅速な処理により、市民サービスの向上を図った。
新 住民基本台帳ネットワーク事業	1,301	住基ネット第1次稼働、コード附番による通知（全世帯分26,004通）
新 戸籍事務コンピュータ化事業	5,250	戸籍コンピュータ化（平成15年12月稼働）に向けて、現在戸籍、附票のマイクロ撮影を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在戸籍 約35,896戸籍、約64,612枚</li> <li>・戸籍附票 約35,896戸籍、約39,485枚</li> </ul>

⑮ 選挙費

新発田市長選挙	6,747	平成14年11月17日執行（無投票）
新潟県議会議員一般選挙	7,262	選挙準備事務 （平成15年4月13日執行予定）
新発田市議会議員一般選挙	15,105	選挙準備事務 （平成15年4月27日執行予定）
新発田市農業委員会委員一般選挙	618	平成14年7月7日執行（無投票）
参議院議員補欠選挙	26,025	平成15年4月28日執行

⑯ 統計調査費

統計調査員確保対策及び研修事業	80	統計調査員の確保や資質の向上のための研修事業等を行った。
-----------------	----	------------------------------

統計調査事業	5,473	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修（講演「調査中の交通安全」）29名</li> <li>・県統計大会22名参加</li> </ul> 商業統計調査（約1,300事業所）、就業構造基本調査（270世帯）、工業統計調査（約310事業所）等を実施した。
--------	-------	--

### （3）民生施策

#### ① 障害福祉費

在宅障害者福祉事業	207,652	<p>障害者基本法の理念を踏まえ、障害者の自立と社会参加のため、障害の軽減を図り、障害者の年齢・種別程度に応じ、適切な医療保護、手当、用具の給付等調和のとれた在宅障害者福祉事業を実施した。</p>
（重度心身障害者医療費扶助）	(64,977)	重度心身障害者医療費扶助 24,804件
（重度心身障害者特別障害者手当の支給）	(93,248)	重度心身障害者特別障害者手当年間受給者数 3,245件
（重度心身障害者日常生活用具の支給）	(4,447)	住宅改修（段差解消）、特殊寝台、入浴補助用具、歩行支援用具、拡大読書器他 57件
（在宅重度心身障害者見舞金）	(2,430)	在宅重度心身障害者で介護を要する人に見舞金を支給した。年額30千円、81件
（更生医療費の給付）	(9,000)	各種障害の除去又は軽減のため手術費用等を給付した。ペースメーカー埋め込み他
（補装具の給付）	(24,985)	電動リフト式車いす、下肢装具、義手他器具修理等の給付 219件
（福祉タクシー料金の一部助成）	(6,280)	福祉タクシー 566人 6,960枚 リフト付福祉タクシー 118人 930枚
（障害者社会参加促進事業）	(1,677)	盲人ガイドヘルパー派遣事業委託（新発田市社会福祉協議会へ）
（重度心身障害者等紙おむつ購入費補助）	(608)	月額2,500円助成 244件
（障害者ふれあいルーム事業）	(673)	<p>障害者の自己表現の場を増やし、仲間同士の交流・情報交換の場を提供し、コミュニケーション能力の向上を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン・陶芸・親子料理・和紙ちぎ絵教室、障害者生活講座等を開催。</li> </ul> 参加者総数 201人
施設入所者福祉事業	325,186	<p>障害者の障害程度に応じた適切な指導・訓練を行い、社会への適応能力を高めつつ、就労機会を図るべく、更生・援護施設等の入所委託事業を行った。</p>

(身体障害者更生援護施設入所委託)	(41,373)	新潟みずほ園、第2みずほ園、もぐら工房、プレイスホーム
(進行性筋萎縮症者入所委託)	(6,690)	国立療養所新潟病院
(知的障害者援護施設入所委託)	(275,763)	緑風園他7施設
(知的障害者通勤寮入所委託)	(1,360)	三条市知的障害者通勤寮長久の家
社会福祉法人・団体等の育成事業	87,981	各種団体の活動に対して活動の進展と活 発化を図るため、事業運営の助成を行った。
((福)阿賀北福社会負担金)	(1,982)	
((福)七穂会負担金)	(181)	
(下越障害福祉事務組合負担金)	(75,610)	
((福)のぞみの家福社会補助金)	(2,548)	
(加治川郷負担金)	(1,786)	
(各種団体の補助)	(5,874)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新発田市身体障害者団体連合会 150千円</li> <li>・第3地区スポーツ大会 70千円</li> <li>・新発田市手をつなぐ育成会 5,554千円</li> <li>・新発田地区腎友会 100千円</li> </ul>
新 福祉医療システム開発事業	6,300	障害者・ひとり親医療費助成業務の電算 化を図るため、システム開発を委託し事務 効率を高めた。

## ② 老人福祉費

自立支援家事援助サービス事業	18,899	要介護認定において「非該当」と認定され支援が必要な高齢者に対して、市が福祉施策として自立支援に向けて、サービスを25人に提供した。
生活支援デイサービス事業	2,975	介護保険制度施行日までにデイサービスセンターを利用していた高齢者等の中で、介護保険の対象外となった高齢者等に対して、引き続きサービスを13人に提供した。
生活支援短期入所事業	0	介護保険で要支援・要介護まで至らないが養護が必要な高齢者を、養護する家族に代わって一時的に養護する必要がある場合に、特別養護老人ホーム等に入所させて、サービスを提供。利用者なし。
配食サービス事業	6,987	介護認定を受けた65歳以上の単身又は高齢者のみの世帯で、調理が困難な者に対して、バランスのとれた食事を137人に提供し、併せて安否の確認を行った。
介護サービス利用者負担金扶助	3,765	居宅介護サービス利用者のうち低所得者に対して、利用者負担金を助成した。 利用助成者 244人

訪問介護低所得者負担金扶助	2,993	介護保険施行時ホームヘルプサービスを利用して低所得者が、引続きサービスを受ける場合は、10%の利用者負担金を3%に軽減するもので、利用負担軽減された人は、障害者38人、高齢者68人であった。
新 社会福祉法人利用者負担額減額補助事業	2,626	介護保険サービス利用の低所得者に介護サービス利用料の50%を減額している社会福祉法人に対して助成した。 助成対象者51人
在宅介護支援センター事業	41,891	在宅の要援護高齢者やその家族の介護に関する相談に応じたり、各種の保健・医療・福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係各機関と連携・調整を図るとともに、介護機器の選定や住宅改造などの相談に応じ、サービス申請の便宜を図った。 相談件数 1,465 件 実態把握件数 1,040 人 介護予防教室 20回、424 人
ふれあい学院運営事業委託	596	訪問介護員2・3級養成講座の実施 2級36名、3級26名が受講
一人暮らし高齢者等緊急通報装置設置事業	1,361	一人暮らし高齢者等の緊急事態に対処するため、緊急通報装置を85世帯に設置して高齢者の安全を図った。
高齢者福祉電話設置事業	684	一人暮らし高齢者等の安否確認及び相談に対応するため、福祉電話を28世帯に貸与し、基本料金を扶助した。
寝たきり高齢者家庭援助事業	15,561	在宅の寝たきり高齢者1人に布おむつを貸与した。また、紙おむつ代を800人に対して助成を行い、清潔で心地よい生活を確保するとともに、家族の身体的・経済的負担の軽減を図った。
寝たきり高齢者寝具乾燥事業	217	在宅寝たきり高齢者等の寝具の丸洗いや乾燥を11人に実施し、衛生の保持を図った
高齢者向け住宅整備補助事業	4,821	高齢者等との同居を容易にするため、13人の高齢者に身体状況に適したものに住宅改造を行い、その要した経費の一部を助成することで、住宅環境の整備を図り、高齢者が自立した生活を送れ、介護者の負担も軽減することが出来た。
給食サービス運営事業補助	2,415	利用者98人の70歳以上の一人暮らし高齢者の健康増進と孤独感の解消を図るため、給食サービス事業に補助を行った。
在宅介護者感謝の集い事業	293	家庭で寝たきりの高齢者を介護をしているご家族の日頃の労をねぎらうため75人に交流の場を提供する事業を行った。
老人福祉センター金蘭荘負担金	24,346	高齢者の教養の向上やレクリエーション等の便宜に供するため、金蘭荘運営事業の



養護老人ホーム入所措置	105,027	助成を行った。 在宅での生活が困難と認められる一人暮らし等の高齢者5人を養護老人ホームへの入所措置を行った。
新発田地域老人福祉保健事務組合負担金	23,231	養護老人ホームの環境整備を行い、施設の機能を維持管理するため助成した。
特別養護老人ホーム建設借入金償還金補助	48,512	二の丸 3,959千円、とっさか14,724千円、つきおかの里29,829千円
老人医療費扶助事業	2,031	65歳以上の一人暮らし高齢者及び寝たきり高齢者の医療費給付を行った。
新 介護相談員派遣事業	1,490	介護施設サービス提供の4施設に介護相談員が訪問し、サービス利用者から直接話を聞き利用者の不満、不安の解消を図った。 相談件数 21件 うち解消を図る事ができた件数12件
外国人高齢者福祉手当助成事業	840	日本国籍を有しないという理由だけで老齢年金を受給できない高齢者7人に福祉手当を支給した。

### ③ 国民年金費

国民年金事業	2,436	老齢、障害、死亡等による生活の安定が損なわれることを防止し、安心と生活の維持向上を図るため、国民年金制度の普及と制度に対する啓発を行った。
--------	-------	---

### ④ 地方改善事業費

人権啓発活動地方委託事業	170	人権・同和問題の早期解決に向けて講演会開催等を実施し、同和問題に関する偏見や差別意識の解消に努めた。  基本事業として、社会調査及び研究事業、相談事業、啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業、貸館事業等、特別事業として地域交流促進事業等を実施した。
同和地区啓発活動補助事業	2,300	
隣保館運営事業	10,802	

### ⑤ 児童福祉費

母子・児童福祉事業 (ひとり親家庭医療費扶助)	(26,625)	18歳未満の児童を養育している父子家庭・母子家庭に対し自己負担医療費を扶助し、疾病の早期治療を促進し、健康で明るい家庭生活の維持に努めた。
新 (児童扶養手当費扶助)	(75,527)	父母の離婚などにより父と生計を同じくしていない児童を養育している人に74,734千円を支給した。また、電算システムの開発を委託し、児童扶養手当の迅速な事務処

(児童手当の扶助)	(258,800)	理を行った。 家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図るため、児童を養育している人に手当を支給した。 児童手当 107,490千円 特例給付 10,515千円 就学前特例給付 140,795千円
認可保育園維持補修 (15園)	17,011	次代を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図るため、保育環境の維持・改善を行った。 住吉、三ノ丸保育園公共下水道排水設備工事 8,682千円ほか
私立保育園運営委託料 (5園)	424,234	保育に欠ける世帯において、世帯の負担軽減及び児童の健全育成のために、私立5園に保育を委託した。
エンゼルプラン推進事業	69,065	女性の社会進出に伴い、要望の多い未満児保育事業等について、私立保育園に補助をするなどし、保育サービス及び子育て支援の充実を図った。
へき地保育所維持補修 (7所)	3,580	老朽化の著しいへき地保育所施設の危険性が伴う箇所及び備品を修復した。 中倉保育所保育室床張替え、トイレ補修工事 1,680千円ほか
へき地保育所運営委託料 (7所)	8,723	へき地保育所を運営している7地域の運営委員会へ、委託料として支出した。 入所児童数 延 1,377人
子育て支援事業交付金	4,977	出生率の向上と次代を担う子どものすこやかな成長に寄与することを目的とし、安心して子どもを産み育てることができる社会環境づくりのため、第3子以降を出産した者に対し、当該児の養育費用の一部を交付した。 交付件数 100件 (1件の上限額 5万円)
保育園整備事業	12,640	0歳児の保育環境の整備として西園・住吉保育園の乳児室の改修及び保育園への不審者対策として南・住吉・中井保育園にフェンスを設置した。
新 保育園建設事業	91,111	老朽化した川東保育園と、児童数の減少により運営が困難となったへき地保育所(宮古木、板山、虎丸、上三光)の統合建設をするために、土地の確保、造成、調査を実施した。 用地取得面積8,046.09㎡ 43,207千円他
新 情操教育推進事業(みどりの新発田っ子プラン推進事業)	1,362	園児が心やさしく情操豊かな人間として育つように、植物の栽培、動物の飼育等の事業を公立15園、私立5園で実施した。

子育て支援事業	645	遊びの場の提供や遊びの指導、育児相談、子育てサークル支援等を実施し、子育て中の親の交流を推進することで、親の育児ストレスや不安の解消を図った。 育児講座5回 延参加者数 520人
家庭児童相談員事業	2,746	子育てに不安を持つ保護者に安心して子育てをしてもらうため、適切な相談指導を行った。 相談件数 延1864件
新 ファミリー・サポート・センター事業	1,197	育児と仕事の両立及び子育て家庭を支援するため、センター事務局が「育児の援助が必要な会員」に「援助ができる会員」を紹介する地域の子育て支援として、1月1日に設立し、2月に活動を開始。説明会、会員養成講座を開催した。 会員登録総数は88人（3月末現在） うち提供会員31人、依頼会員39人 両方会員18人
遺児激励事業	2,321	遺児の健全な成長と遺児家庭の福祉増進を図るため、次の事業を行った。 文化会館主催事業招待（2回） 優良映画鑑賞招待（1回） 親子バスハイク（2回） 入学・進学・卒業祝い クリスマスプレゼント 新発田みどり会事業助成

⑥ 青少年健全育成費

青少年健全育成事業	16,908	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民会議活動助成</li> <li>○ 青少年問題協議会開催（1回）</li> <li>○ 母親クラブ活動の推進</li> <li>○ 明るい家庭づくり運動推進</li> <li>○ 青少年健全育成地域活動推進事業 指定7中学校区</li> <li>○ 青少年団体活動助成 市子ども会連合会等3団体</li> <li>○ 青少年団体交歓事業</li> <li>○ 青少年健全育成講演会の開催</li> <li>○ 通常補導（補導車による巡視）</li> <li>○ 特別補導 新発田まつりパトロール等</li> <li>○ 列車内補導（2回）</li> <li>○ 愛のパトロール PTAと協力し夏休み期間中</li> <li>○ 補導委員会研修会 視察研修2回、通常研修4回</li> <li>○ 面接相談、電話相談、</li> <li>○ 訪問相談 100件</li> <li>○ 相談員研修 視察研修2回・通常研修4回</li> </ul>
児童センター活動事業	4,181	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親子であそぼ 3期23回 参加者 1,886人</li> </ul>

放課後児童健全育成事業	32,479	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チャレンジクラブ 8教室 各10回参加者 1,111人</li> <li>○ 児童文化普及活動 31事業 参加者 2,366人</li> <li>○ サマースクール 10校 参加者 335人</li> <li>○ 青少年ボランティア 延べ参加人数 184人</li> </ul> <p>放課後留守家庭の児童クラブ活動 クラブ数 8 箇所 クラブ登録児童数 843 人</p>
新 児童センター東豊分館移転改修事業	13,979	児童センター東豊分館移転改修 200.79㎡
新 児童センター加治分館新築事業	32,054	児童センター加治分館新築 172.24㎡

⑦ 生活保護費

生活保護扶助費の支給	429,717	<p>生活に困窮する被保護者に対して必要な保護を行い、最低生活を保障するとともに自立助長を図った。</p> <p>年間被保護延べ世帯数 3,291世帯</p>
------------	---------	---

⑧ 社会福祉事業推進費

民間福祉団体育成事業	36,920	社会福祉法人社会福祉協議会に対して助成を行い、民間福祉団体の育成に努め地域の社会福祉活動の増進を図った。
((福)社会福祉協議会運営事業費補助)	(31,224)	
(民生委員児童委員連合会補助)	(5,696)	ボランティア活動と地域福祉・在宅福祉活動の拠点として、社会福祉の推進を図った。
社会福祉センター(ボランティアセンター)事業	26,031	
(社会福祉センター運営費補助)	(22,685)	
(ボランティア活動推進事業補助)	(1,378)	
(ボランティア車運営事業補助)	(1,068)	
(ボランティアフェスティバル負担金)	(900)	
相談事業委託	2,308	

総合健康福祉センター管理運営事業	27,514	市民の健康で明るい生活の実現のため、健康の維持増進、障害者や高齢者の社会参加と自立、在宅介護等の積極的な支援とネットワーク化を目的とした保健・福祉の総合的な拠点として機能するよう管理運営をした。
------------------	--------	---

#### (4) 衛生施策

##### ① 保健衛生費

地区組織育成事業	3,109	健康の保持増進と生活環境の健全化を目指し、新発田市保健自治会の育成に努めた
成人健康生活支援事業	147,335	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康診査（基本健康診査、肝炎ウイルス検診、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肺がん検診、大腸がん検診）</li> <li>○健康相談、健康教育</li> <li>○訪問指導</li> <li>○健康診査一括申込み</li> <li>○健康手帳の交付</li> <li>○結核予防健診</li> <li>○骨粗しょう症健診</li> </ul>
母子保健事業	22,897	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊婦健診、乳児健診、妊婦歯科健診、乳児歯科健診、新生児訪問</li> <li>○1歳6カ月児健診、3歳児健診</li> <li>○集団プレー、育児相談、育児教室、母親教室、栄養強化事業</li> </ul>
新 ブックスタート事業	1,980	698人の乳児に絵本の読み聞かせ体験とあわせ絵本をプレゼントした。
乳児医療費助成事業	21,344	乳児医療費助成
幼児医療費助成事業	44,151	幼児医療費助成（入院、通院共に4歳未満児まで）
歯科保健事業	4,659	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フッ素塗布</li> <li>○むし歯予防教室</li> <li>○6歳児歯科健診</li> <li>○歯の健診と相談</li> <li>○成人歯科健診</li> <li>○新 歯科保健推進校</li> </ul>
栄養事業	1,425	市民に正しい食生活の普及を図るため栄養講習会を実施した。
めざせ100彩健康づくり推進事業	728	食習慣改善及び運動習慣の定着のため講演会等を実施した。
健康づくりフェスティバル事業	1,000	市民への健康づくり活動啓発事業を実施した。
総合健康福祉対策協議会事業補	1,639	保健・医療・福祉の一元化による、きめ

助		細かな地域社会システムの構築と推進を図り、明るい長寿社会の建設を目指して調査・研究を実施した。
県立新発田病院整備促進事業	300	老朽、狭あい化した新発田病院の建設に向け、整備促進期成同盟会を通じて、事業の促進を図った。
精神保健福祉事業 (啓発普及団体支援)	88,156 (3,532)	精神障害者社会復帰検討会及び啓発普及事業を実施するため検討会や講座を開催した。 通所作業所の運営支援と家族会の活性化を図るためのサービスを提供するため、しば草会や精神障害者家族連絡協議会に助成した。
新 (在宅支援)	(3,072)	ホームヘルパーの派遣をはじめ、グループホーム運営支援などの自立支援のためのサービスを提供するため、曙会グループホームに助成した。
新 (精神障害者通所授産施設整備事業)	(81,552)	自活、社会復帰のため必要な訓練及び指導を行う通所授産施設「夢工房」の整備を行った。

## ② 予 防 費

予防接種事業	51,832	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予防接種実施体制の定着を図り、定期予防接種（ポリオ、三種混合、二種混合、風疹、麻疹、日本脳炎）を安全に実施し、疾病の流行防止に努めた。</li> <li>○ 結核予防法に基づくツベルクリン検査及びBCG接種を実施した。</li> <li>○ 高齢者のインフルエンザ予防接種を開始した。</li> </ul>
--------	--------	--

## ③ 公衆浴場確保対策費

公衆浴場設備改善事業	862	公衆浴場存続のため、設備改善に要する費用の一部を補助した。
公衆浴場経営維持事業	1,447	公衆浴場経営に要する水道料金、燃料費を補助した。
公衆浴場無料入浴事業	1,208	家庭風呂のない高齢者や母子世帯、生活保護世帯等を対象として、無料入浴券を交付した。

④ 畜犬・衛生費

狂犬病予防推進事業	3,140	畜犬登録により狂犬病予防推進に努め、地域公衆衛生の充実を進めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・畜犬の登録手数料 331件</li> <li>・狂犬病予防注射票交付手数料 3,907件</li> <li>・登録再交付 66件</li> </ul>
-----------	-------	---

⑤ 環境衛生費

環境衛生対策事業	6,653	衛生害虫による健康被害等を防止するため、自治会等で実施する防除事業の薬剤代金の一部を助成した。 個人 6件、町内会 39件
(衛生害虫防除薬剤費助成)	(313)	
(食葉・不快害虫等防除事業)	(6,340)	
		公共施設等の樹木保全に努め、市街地における公衆衛生の推進を図った。 公共施設 33件、町内会99件 個人 247件

⑥ 公害対策費

環境美化推進事業	4,235	新発田大クリーン作戦では、6月9日の統一実施日前後を含め約1万8千人が参加し、市内全域の一斉清掃を実施した。 ごみの不法投棄常習地も当事業により着実に改善され、収集量も約61トンと年々少なくなってきたおり、多数の市民が自らの活動で清掃を行うことによって、不法投棄及び地域の環境美化に関する認識を更に深めることができた。 (12年度 118トン、13年度86トン)
(クリーン作戦)	(449)	
(環境美化推進業務委託)		
		環境美化を推進することを目的として、飼い犬のふん害の把握と撤去をはじめ、不法投棄ごみの回収等を委託した。実績として、公園等における犬のふんの回収が延べ2,606ヶ所、家電リサイクル法対象品目91台、タイヤ・自転車等の回収が328台、その他のごみとして軽トラック73台分の不法投棄ごみを発見・回収した。犬のふん害及び不法投棄については、意識啓発及び監視などの防止策が挙げられるが、こうした現状把握・回収も、環境美化の推進を図る上で効果があった。
(不法投棄防止巡回警備委託)	(786)	ごみの不法投棄防止のため、不法投棄常習箇所の夜間の巡回警備を委託。 (延べ96日、832地点を巡回) 不法投棄現場を押さえることは出来なかったが、大規模な不法投棄箇所は減少した。大クリーン作戦等でのごみの回収量が減少していることから、一定の抑止効果が認め

環境基本計画策定事業	10,027	<p>られる。</p> <p>環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための新発田市環境基本計画を策定した。本計画では、環境分野ごとに市内全域に及ぶ現状分析と課題を抽出。その上で、数値目標を伴った計画を策定した。また、地区別・主体別に指針を定め、市民・事業者にも取り組みやすいよう配慮した。計画策定に関しては、学識経験者や市民・事業者からなる環境審議会及び環境基本計画策定ワーキンググループにより2年間に渡り充分審議していただいた。また、計画については、概要版を全戸配布したほか、計画本文を市内の各関係機関に配布し、計画の周知・協力を図った。</p>
------------	--------	---

⑦ 塵芥処理費

ごみ減量資源回収事業	137,642	資源ごみの収集処理及び各種支援事業でリサイクルの推進を図った。
(資源ごみ収集処理)	(135,217)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資源ごみ収集量 5,355トン</li> <li>リサイクル率 25.9%</li> </ul>
(生ごみ処理機器購入支援)	(1,094)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンポスト容器 137 個</li> <li>EM密閉式容器 53 個</li> <li>電動生ごみ処理機 35 台</li> </ul>
(ごみステーション設置支援)	(759)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施団体 10 団体</li> <li>設置箇所数 17 カ所</li> </ul>
(資源ごみ集団回収奨励金交付)	(572)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登録団体数 33 団体</li> <li>回収量 古紙 96,487 kg</li> <li>布 10 kg</li> <li>アルミ缶 8,857 kg</li> <li>スチール缶 122 kg</li> </ul>

(5) 労働施策

① 勤労青少年費

勤労青少年事業	2,341	<p>働く若者の余暇活動の場を提供し、自主性を尊重し、自己啓発と福祉の向上を推進するため、次の事業を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教養講座の開設運営</li> <li>2 自主サークルの育成支援</li> </ol>
---------	-------	---

② 労働諸費

緊急地域雇用対策事業	71,452	緊急地域雇用創出特別基金事業を活用し、本市が抱えるさまざまな分野の課題の解決を進めた。
------------	--------	---



(ごみの減量、再資源化及び不法投棄防止推進事業)	(26,624)	ごみの減量、再資源化及び不法投棄防止推進事業で失業者を雇用 新規雇用の失業者 30人
新 (五十公野山赤松林再生事業)	(1,834)	五十公野山の赤松林を再生するため、下草刈りや小灌木伐採等を2ha実施した。
新 (猿害対策調査事業)	(10,000)	市内全域で農家組合員等による「猿の群れ数や移動経路、被害程度等の目撃調査」のほか、調査員が農地パトロールを行い、ニホンザルの追い払いを行った。
(河川環境整備事業)	(8,715)	坂井川、姫田川の河川敷内の雑木を伐採し、河川環境の整備を行った。
(情報教育推進事業)	(4,800)	コンピュータ機器を活用した教育の推進を図るため、業者にコンピュータアドバイザーを雇用させ、小・中学校教職員に対してコンピュータの操作方法や活用方法の指導を実施した。 アドバイザー雇用者数 4名
新 (学習指導強化事業)	(8,468)	小中学校における新教育課程の円滑な実施や基礎学力の定着を図り、問題行動・学級崩壊を防止するため、補助教員8名を雇用した。
新 (民具整理、展示事業)	(1,888)	生涯学習の振興のため、市民等から寄贈を受けた民俗資料を整理し、写真撮影及び台帳記入、展示を行った。
新 (歴史的建造物調査・観光資源発掘事業)	(9,123)	○歴史的建造物調査 文化財の掘り起こしと保存活用のため、築後50年以上経つ神社、寺院を対象に現地確認し台帳記入を行った。 ○観光資源発掘 観光体系の確立を図るため、市内の祭礼行事等、観光資源の発掘調査を行った。
住宅建設資金貸付事業	99,687	定住・持家を促進するため、住宅の新築、増築又は購入の希望者への資金のあっせんを行い、融資に対して預託をした。
勤労者福利厚生活動事業	12,000	勤労者の福利厚生の上昇と雇用の安定促進に資するため、(財)新発田市勤労者福祉サービスセンターに管理運営費の一部を補助した。
サン・ワーク維持管理事業	22,608	サン・ワークしばたの管理運営を行った。
サンスポーツランド及びサン・ビレッジ維持管理事業	37,183	サンスポーツランド及びサン・ビレッジの管理委託を(財)新発田市公園都市施設協会に委託し、市民にスポーツの場と機会を提供した。

## (6) 農 林 水 産 施 策

### ① 農 業 委 員 会 費

農地利用集積実践事業	85	農地法、農業経営基盤強化促進法等により、農地の流動化、利用集積を積極的に推進するため、農地銀行支店長（農業委員）による、農地の利用権設定等で地域農業の強化を図った。 所有権移転 21件 5.1ha 利用権設定 484件 299.9ha
農業者年金事業	1,827	新農業者年金制度への加入促進と的確な経営移譲による年金受給を進め、担い手育成及び農業者の老後の生活安定と福祉の向上を図り、将来に向けた農業経営の安定を推進した。
地域農業システム確立農地集積事業	2,659	認定農業者の経営規模拡大と経営安定に資するため認定農業者に対し、利用権設定等により、農地の集積を行った場合、出し手農家に補助金を交付し、認定農業者の育成と農地の利用集積を推進して経営基盤の強化を図った。 対象件数 49 件、面積30.8ha

### ② 農 業 総 務 費

生産調整推進対策事業	8,230	新たな水田対策大綱に基づき、転作の円滑な推進など米と大豆等を適切に組み合わせた収益性の高い水田農業の取り組みを推進した。
------------	-------	--

### ③ 農 業 振 興 費

農業振興事業委託事業	10,000	本市の農業振興の基本方針と施策の審議及び農業振興事業の実施を新発田市農業振興協議会へ委託した。
カメムシ類防除対策事業	2,800	加治川を中心とした土手の一斉草刈りを農家組合等へ委託し、カメムシ類による斑点米格落ちを防ぎ、水稻の品質向上を図った。
農業経営基盤強化資金利子助成事業	2,857	認定農業者が借り入れる農業経営基盤強化資金への利子助成を行った。
緊急農業経営安定資金利子助成事業	42	農産物価格の下落、生産調整の拡大による認定農業者等の経営圧迫に対応し、県とともに利子助成を行うことにより、地域農業の安定を図った。
経営基盤強化促進対策事業	536	農用地利用集積の推進や認定農業者制度の啓発などにより農業経営体の育成を推進した。
農林水産業総合振興事業	74,989	

(ふれあいセンター整備事業)	(16,000)	上中沢集落ふれあいセンター、新屋敷集落ふれあいセンター、横山集落ふれあいセンター建設に対して補助を行い、コミュニティづくりを助長し、快適な地域づくりを進めた。
(土地利用型作物本作化条件整備事業)	(27,262)	大豆の本作化のため、中谷内大豆生産組合他のは種機や培土機等の導入に対して補助した。
(「新潟米」低コスト生産緊急対策事業)	(22,344)	稲作のコスト低減を図るため、集落ぐるみの生産組織が行う営農用機械の導入に対して補助した。
(経営体等育成事業)	(4,383)	経営体育成のため、農事組合法人二王子と有限会社アドバンファームしばたの営農用機械の導入に対して補助した。
新 (トップブランド「新潟米」推進事業)	(3,500)	効率的な収集システムを確立するため、JA北越後が導入するカントリーエレベーター用メッシュコンテナ等に補助した。
(複合部門導入支援事業)	(1,500)	米倉地区でのヤマノイモ栽培、道賀地区でのアスパラガス栽培を目指す新規参入者を募り、産地の活性化と維持発展を図るとともに園芸複合経営の確立と農業所得の向上を図った。
農業経営改善資金貸付事業	25,671	農業経営改善のための資金の貸付けを行った。
施設園芸産地育成事業	22,872	JA北越後リースによる園芸用パイプハウス整備や道賀のアスパラハウス導入に対して補助し、収益性の高い園芸複合経営の育成及び施設園芸産地の形成を促進した。
地域農業確立対策事業	38,391	地域農業の振興を図るため、生産条件の整備、とも補償制度の活用による生産調整の推進、国・県補助事業導入等への支援を行った。
猿害対策事業	229	中山間地域等で頻発する猿被害に対応するため、簡易防護柵の展示を5カ所で行ったほか、猿害を受けない作物としてウコンを選定し3カ所で実証を行った。
農地流動化地域総合推進事業	23	「農業経営基盤強化促進基本構想」の進行管理と農地流動化を推進した。
地域水田農業経営確立総合支援事業	3,860	生産調整について審議する水田農業確立推進協議会へ補助するとともに大豆等の生産の組織化・栽培の団地化によって、生産性の高い土地利用型複合営農の推進を図った。
新規就農者支援事業	1,288	
(新規就農者支援事業)	(88)	新規就農者支援のため、新たな利用権設

(緑の山里雇用促進創出緊急支援事業)	(1,200)	定に対して補助した。
農業生産総合対策事業	300	農業法人等が行う離職者等に対する就業現場での実践研修活動を進めるため、農業法人等に助成し、中山間地域における就業の場の確保を図った。
中山間地域等直接支払交付事業	45,900	オペレーター講習会の開催、担い手会議の開催、大豆加工技術研修会開催等、農業生産対策に補助した。
地場産農産物利用促進事業	1,600	中山間地域等で条件に合致した13集落を対象として生産条件に関する不利性の補正と担い手の育成活動を支援し、農業・農村が有する多面的機能の維持・増進を図った。
米対策緊急支援事業	19,952	学校給食等に地場産農産物を提供することによって、児童・生徒・保護者等（消費者）に対し、地域農業への理解を促進し、併せて地場産農産物の消費拡大を図った。
土壌改良促進事業	26,979	米の需給ギャップにより米価が低落しており、生産調整の拡大への支援策を講ずることによって米価の低落の防止及び農家経営の安定を図った。
		消費者に安心して安全な農作物を提供することを目的に、土壌本来の機能を維持・増進するため、土壌改良資材の投入を行い、土壌環境の改善を図った。

#### ④ 畜産業費

畜産振興総合対策事業	201	飼養、経営管理技術向上の推進と畜産業の総合的な振興を推進した。
畜産生産性向上事業	758	酪農経営における効率化を図る事を目的に、上車野酪農組合のサイレージカッターの導入に対して補助し、生産性の向上を図った。
新 資源循環型社会づくり事業	3,203	土づくりを核とした資源循環システムづくり等の参考とするため、水田の土壌分析や原料の異なる堆肥を用い成育調査を行った。また、資源循環型社会のシンボルとして「菜の花団地」の形成を進めるなど資源循環型社会づくりへの取り組みを行った。

#### ⑤ 農地費

農道維持の原材料支給等	21,726	農道の機能確保を図るため、地域に対して敷砂利、生コンクリート、二次製品等を支給し、適正管理を行った。 生コン 726.35㎡ 10,473冊 碎石 1,178.5㎡ 6,898冊 二次製品（U字側溝） 4,355冊
-------------	--------	--

担い手育成農地集積事業	1,511	県営担い手育成基盤整備事業実施地区における農地集積の円滑な推進を図った。
県営担い手育成基盤整備事業	92,254	県営ほ場整備事業に対する負担金
（新発田北部地区）	(19,061)	暗渠工 40ha
（小坂地区）	(1,000)	暗渠工 6.3ha
（坂井川右岸地区）	(29,679)	機場工 一式
（加治川地区）	(868)	区画整理工 34ha
（加治川右岸地区）	(21,111)	区画整理工 10ha
（三悠乙見江地区）	(9,840)	区画整理工 14ha
（蔵光地区）	(6,908)	区画整理工 1ha、ため池
（太斎地区）	(647)	実施設計
新（川東地区）	(3,140)	実施設計
農業農村整備事業調査計画事業	7,416	ほ場整備事業実施予定地区における県営、団体営で行う調査計画事業に対して補助した。
（山内地区）	(687)	
（米倉地区）	(2,132)	
（佐々木南部郷地区）	(2,761)	
新（五十公野地区）	(1,836)	
県営かんがい排水事業（排水対策特別）（城下地区）	14,025	事業費69,300千円に対する負担金 排水路整備 L= 333m
国営造成施設管理体制促進事業	4,915	土地改良費の負担軽減を図り、農業生産環境の改善に努めた。
新 天辻川調査計画事業	4,200	天辻川流域地区の湛水被害を防止するため、基本計画を策定した。
新発田川改修（山王地区）事業	9,450	山王地区新発田川改修工事 排水路整備 L=58m

⑥ 農道整備費

県営北蒲原東部地区広域営農団地農道整備事業	13,533	事業費 134,390千円に対する負担金 小出地内農道舗装工 L= 506m 本間新田地内下層路盤工 L= 410m
県営下越中部地区広域営農団地農道整備事業	424	事業費 3,954千円に対する負担金 完了整備 一式

県営広域関連農道下新保線整備事業	5,655	事業費22,624千円に対する負担金 下層路盤工 L=239 m
------------------	-------	-------------------------------------

⑦ 農村基盤総合整備費

県営農村活性化環境整備事業 (菅谷地区)	63,968	事業費163,639千円に対する負担金 ほ場整備 一式 集落農道整備 L= 220m コミュニティセンター用地買収 A=8,311.86㎡
-------------------------	--------	---

⑧ 農村振興総合整備費

農村振興総合整備事業	4,005	安心でゆとりある生活のできる農村、都市にはない魅力的な資源のある農村の創出を推進した。 実施計画 一式
新 農村振興整備支援事業	1,004	農村地域の活力と個性のある多様な地域づくりを推進するため、住民参加による施設の整備・維持管理・利活用に対する支援を行った。

⑨ 林業振興費

松くい虫防除事業	7,673	松くい虫防除剤の地上散布面積については44.5ha、被害木92本については伐倒による松くい虫媒介虫の駆除を実施し、五十公野山の松林の健全化を図った。
流域森林総合整備事業	1,880	五十公野山天然林の育成環境を整備するため、8haを対象に小灌木の伐採と下草刈りを実施した。
新 里山保全管理推進事業	619	里山としての認識や愛着の醸成を目的に五十公野山でのボランティアによる下草刈りや灌木の伐採作業を行った。 参加者 41名
広域基幹林道新発田南部線開設事業	24,029	事業費 149,500千円に対する負担金 中々山地区、荒川地区 開設工事 L= 234m 舗装工事 L= 323m
森林公園整備事業	59,937	園路整備工 一式 野営炊事棟整備工 一式 キャンプ場便所整備工 一式
都市山村交流促進対策事業	982	都市と山村地域の交流を促進し、山村地域の活性化を図った。
林道維持事業	4,902	赤倉岐線等の維持管理を行った。
林道維持の原材料支給等	1,983	林道大松線、松岡線、金鉢線、赤倉岐線等を砂利及び生コンで補修を行った。

		L= 183m
--	--	---------

⑩ 水産業費

新 内水面特産品開発事業	1,300	サクラマスを中心とした内水面における「しばたブランド」を確立するため、加治川漁業協同組合とともにヤマメの稚魚育成、川の大切さのPR等を推進した。
--------------	-------	--

⑪ 発酵のまちづくり事業費

新 発酵のまちづくり推進事業	2,271	有機資源循環対策の一環として現地指導・講演会の開催、有機資源センターの設置検討を行った。
----------------	-------	--

(7) 商工観光施策

① 商工業振興費

商工観光振興事業	26,697	商業、工業、観光の各団体の横連携を促進し、活動の活性化と効果的、効率的な事業推進に努めた。
制度融資貸付事業	705,288	中小企業者の経営安定と資金の円滑な調達と経営基盤の強化を図るため資金のあっせんを行い、融資に対して預託をした。 ・県地方産業育成資金 ・経営安定化対策資金 ・中小企業振興資金 ・空き店舗等対策資金 ・中小企業活性化対策資金等
中小企業等振興事業奨励補助事業	1,187	市内特定地域への工場や特定商業集積地に進出した企業等に助成した。
新 市街地活性化推進事業	33,159	地域独自の「自然景観」や城下町400年の「歴史資源」並びに「四季が織りなす伝統文化」を一同に会す市民参加型イベント「ふるさとしばたの物語」を開催し、産業振興並びに中心市街地の活性化を図った。

② 観光費振興事業費

新発田市観光開発公社振興事業	46,681	各種イベント開催や観光資源などのPRを通し、市内外から誘客するとともに商業、物産など本市の産業振興に資するため、観光開発公社を支援した。
観光施設維持管理事業	75,306	ふるさと会館、旧県知事公舎記念館等の観光施設の維持管理を行い、さらに新発田温泉「あやめの湯」の自噴停止に伴い、渡り廊下・足湯の増築工事を行うことで、サ

観光案内施設設置事業	3,000	ービスの向上を図った。 スムーズな観光施設への誘導と、本市の観光イメージアップを図ることを目的とした観光案内施設整備を行った。
赤谷林道法面防護事業	19,478	赤谷林道の法面崩落危険箇所の防護工事を実施した。
山岳観光推進事業	7,539	湯の平温泉をはじめ、各山岳観光施設の整備及び管理を行った。

### ③ 産 業 振 興 費

食品開発推進事業	3,140	食品関連の新商品開発・発掘指導を行った。
新 農作物等新商品開発事業	300	新商品開発・試作に対し補助した。 交付実績 1 団体
融資貸付事業	592,827	西部工業団地、食品工業団地への進出企業及び団体の経営基盤の強化を図るため資金のあっせんを行い、融資に対し預託を行った。
(西部工業団地立地特別資金貸付事業)	(115,380)	
(食品工業団地立地特別資金貸付事業)	(2,990)	
(中小企業団体共同施設等貸付事業)	(5,090)	
西部工業団地造成事業特別会計貸付事業	469,367	平成14年度において不足が生じる「西部工業団地造成事業特別会計」へ貸付を行った。
新産業創造支援事業	11,250	市内において優れたアイデアに基づき新しい技術の導入、画期的商品の開発、新規市場の創出、新事業の展開等新産業を創造する企業を支援した。
(新産業創造支援事業補助金)	(1,250)	交付実績 1 社
(新分野進出等支援補助金)	(10,000)	交付実績 1 社
産業振興のまちづくり検討事業	221	「新発田市産業振興・地域整備に関する懇談会」を設置し、産業振興及び地域整備に関する施策・事業の取組の方向性に対して検討・提言をいただいた。 懇談会の開催 4 回



## ( 8 ) 建設施策

### ① 道路橋りょう総務費

法定外公共物管理事業	23,940	公共の用に供している新発田・五十公野地区内の里道、水路等の国有財産の譲与を受けた。
街灯整備事業	8,991	通勤・通学路を中心に街灯・防犯灯を設置し、夜間の通行の安全を図った。 一般道71灯、通学路59灯を設置
防犯灯維持管理事業	19,728	夜間の通行の安全確保のため、照明器具等の維持管理を行った。 修理件数 2,976件

### ② 道路維持費

道路維持補修事業	172,107	安全で、良好な道路環境の整備を図るため、道路パトロールを強化し、迅速適切な維持補修に努めた。
(道路維持工事費)	(119,989)	城北町2丁目地内舗装工事及び岡田地内側溝改築工事等の道路維持工事を行った。 工事件数 116件
(道路補修)	(33,116)	市道の路面補修及び側溝の修繕を行った。 補修件数 241件
(道路側溝及び下水路清掃)	(13,912)	道路側溝及び下水路清掃を実施した。
(道路面清掃及び草刈等)	(5,090)	市道及びサイクリングロードの清掃及び除草を行った。

### ③ 道路新設改良費

市単独道路整備事業	666,408	生活利便性の向上とまちの骨格整備のため、重要度、緊急度を勘案して幹線道路・生活道路の改良整備に努めた。	
(道路新設改良工事)	(346,521)		
(道路舗装新設工事)	(12,065)		
(道路用地費等)	(146,476)		
(設計委託費等)	(61,400)		
(生コン舗装原材料)	( 2,998)		道路補修用原材料
(バリアフリー歩道整備事業)	(26,483)		市道西塚中町線 L= 245m 市道新発田駅外ヶ輪線 L= 80m
(県営道路整備事業負担金)	(44,107)		
(私道及び融雪施設整備事業)	(6,328)		私道整備 4 団体 融雪施設 6 団体

(日本海沿岸東北自動車道建設 関連事業)	(20,030)	下川改修事業 L= 100m 日東道開通記念事業負担金 聖籠新発田BS関連整備、維持管理
-------------------------	----------	--

④ 国庫補助道路事業費

消雪施設整備事業	61,097	交通量が多く、人家が密集し、機械除雪では十分な幅員が確保できないことから、消雪施設での無雪化により安全の確保に努めた。 五十公野豊町線 L= 1,075m 東新町豊町線 L= 404m
----------	--------	--

⑤ 交通安全施設整備事業費

交通安全施設整備事業 (カーブミラー等整備事業)	26,651 (6,680)	交通安全標識及びカーブミラー等、安全施設の整備点検を推進し、交通事故防止対策を図った。  生活道路の交通安全対策として、特に通学路の整備を行い、交通安全の確保を図った。
(交通安全施設整備事業)	(19,971)	

⑥ 除 雪 費

除雪対策事業 (道路除雪事業及び除雪機械整備等)	239,978	冬期間における産業経済活動の安定と通勤、通学など市民生活に密着した道路確保のため、除雪対策事業を実施した。 ・除雪路線 (道 路) 市 道：436.5 km 未認定：18.7 km (自歩道) 市 道：40.9 km 県 道：41.3 km ・消雪パイプ 市 道：57.9 km その他：0.8 km
-----------------------------	---------	---

⑦ 河 川 費

河川整備事業 (河川改修整備等)	56,269 (13,442)	河川の改修、しゅんせつ、藻刈りの実施により悪臭防止等、河川環境の改善・整備を行った。  則清地内護岸改築工事等21件の河川維持工事を行った。
(河川清掃等)	(31,834)	市内河川及び下水路の清掃を行った。
(河川除草等)	(10,993)	1・2級河川及び市内排水路の除草等を行った。

⑧ 河川新設改良費

河川新設改良事業 (新発田川護岸改善工事)	19,551	老朽化した護岸を改善して快適な河川環境の確保を図った。
--------------------------	--------	-----------------------------

⑨ 急傾斜地対策費

急傾斜地対策事業	4,022	小規模急傾斜地崩壊防止工事 小戸地区 L=10m
----------	-------	-----------------------------

⑩ 自然と共生する水と緑と花のまちづくり事業費

自然と共生する水と緑と花の まちづくり事業	113,701	公園、自転車歩行者専用道及び幹線道路、 路肩の緑化整備に努めた。
(公園の改築整備)	(29,027)	公園のユニバーサルデザイン化を図るた め、新富公園スロープ新設工事等12公園の 改築整備を行った。
(五十公野公園緑化整備)	(10,309)	あやめ園及び五十公野公園の植栽及び花 種播種を行った。
(道路緑化整備)	(2,877)	松橋線・ねむの木広場の道路緑化を推進 した。
(公園の維持管理)	(67,915)	市内公園等及び赤谷線自転車歩行者道の 維持管理(除草・樹木剪定・トイレ清掃等) を行った。
(緑化推進)	(3,573)	新発田市緑・花振興協会活動補助金及び 市指定保存樹木の維持管理を行った。

(9) 都市計画施策

① 都市計画総務費

まちづくり総合支援事業	309,503	新発田駅前、中心市街地の活性化を図るた め、以下の事業を実施した。 新発田駅前土地区画整理事業 事業計画、実施計画、換地計画、 地質調査業務等 各一式 中央町緑町線 測量、建物調査積算業務 各一式 用地買収 A=278.11㎡ 物件補償 7件 地域交流センター 実施設計、地質調査業務等 各一式
街なみ環境整備事業	39,147	歴史的な街なみの保存・再生や住みよい環 境を創造するため、寺町地区の住環境整備 を行った。 全体面積 A=8.3ha

新 土地有効利用促進基礎調査資料作成業務	5,001	歩道整備 石畳舗装工、水路工 L= 150m 植栽工 N= 9本 (線越明許費分含む)
(財)新発田市公園都市施設協会補助金	42,164	土地利用に関する各種動向、実態、課題等について調査を行った。 都市計画基礎調査、 建築物調査業務 各一式
建築指導事業	1,719	緑化の推進、文化、スポーツの振興及び公共施設の管理を行っている当該協会に補助した。(人件費相当分補助)
新 下水道排水設備設置資金貸付事業	1,295	建築確認申請及び許可並びに建築工事届の受理、審査等に関する業務を行った。 建築確認申請受理 建築物 320件 建築設備・工作物 20件 許可申請受理 21件 工事届の受理 83件
		公共下水道供用開始区域内の水洗化を融資制度により促進した。 融資実行件数 4件

② 土地区画整理事業費

西新発田駅前土地区画整理事業負担金	171,909	西新発田駅前に広がる良好な宅地の創出と南バイパスの整備を行った。 南バイパス改良工 L=1,184 m 西新発田五十公野線改良工 L= 313 m 住吉南線改良工 L= 485 m 御幸町富塚町線改良工 L= 162 m 区画道路整備工 9路線 (線越明許費分含む)
-------------------	---------	---

③ 都市計画街路事業費

西新発田五十公野線整備事業(住吉工区)	146,671	水路蓋設置工、建物調査積算業務各一式 用地買収 A=309.09㎡ 物件補償 6件
中央町緑町線整備事業(緑町工区)	187,784	道路改良工、消雪施設設置工、植栽工等各一式 用地買収 A=618.03㎡ 物件補償 6件 (線越明許費分含む)
県営街路事業負担金	70,221	西新発田五十公野線 (東新工区) 整備延長 L= 690m 改良工 L= 150m J R横断工 一式 西新発田五十公野線 (舟入工区) 整備延長 L= 250m 道路改良工 L= 250m

緑町交差点改良事業	20,412	電線共同溝 L= 500m にぎわいロード 用地買収 A= 549.4㎡ 敷地造成、園路整備、パーゴラ設置 等 各一式
民間開発区域用地購入事業 (開発関連街路整備事業費)	8,468	交差点改良工事 一式 物件補償 1件 (繰越明許費分)
		新発田市開発指導要綱第4条第3項の公共施設の費用負担の協議による協定に基づき、民間開発業者から幹線街路用地を購入した。 用地買収 A=294.08㎡

④ 都市下水路費

自然災害防止事業	82,447	市街地及びその周辺部の浸水の防止に努めた。 ○大手町雨水幹線支線整備工事 管更正 φ1200 L=76m ガス・水道管移設等補償 一式 ○谷内川排水路(地利目木谷内2号雨水幹線)整備工事 □ 2,000×1,600 L= 123m □ 1,200×1,100 L= 50m ガス・水道管移設等補償 一式
都市下水路整備事業	3,990	新井田下水路整備工事 L= 36m
新 国庫補助下水路整備事業	2,037	新井田川1号雨水幹線調査委託 一式
排水路改築等工事補助制度事業	8,457	宅地間等の排水路の整備を図るため、排水路を整備する5団体に対して事業費の一部を補助した。 排水路改築工事補助金 補助率 2/3
側溝等清掃補助事業	2,573	道路側溝清掃の労力負担を軽減するため地域でまとまって清掃業者に委託する場合に事業費の一部を補助した。 1mあたり 300円、助成団体28団体
新 水害対策調査事業	2,940	中央町・大手町・五十公野の一部の水害被災地域の高低差や水の流入量、排水能力等を調査し、水害対策防止調査を行った。

⑤ 防衛施設周辺整備事業費

防衛施設周辺整備事業	252,593	憩いとやすらぎ、交流の場を提供するため新発田城址公園の整備を行った。 新発田城址公園 A= 3.63ha 修景施設工、植栽工、電気設備工 便益施設工、水路整備工等 一式
------------	---------	---

⑥ 公営住宅管理費

公営住宅維持管理事業	20,489	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市・県営住宅（9団地）の修繕、改修、設備の点検等の維持管理を行った。</li> <li>○家賃算定、徴収、申込受付、入退去等の入居者管理を行った。</li> </ul>
------------	--------	--

⑦ 公営住宅建設事業費

公営住宅建設事業	376,999	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新栄団地第4号棟 RC造 中層耐火構造4階建て (片廊下型E L V付) 延べ床面積 1,862.26㎡ 24世帯入居</li> <li>○新栄団地集会所 鉄骨造平屋建て 延べ床面積 102.06㎡</li> <li>○共に管理開始 平成15年4月1日 また、同団地敷地内を整備し、市営住宅 駐車場（73台分）を設けた。</li> </ul>
----------	---------	---

（10）消 防 ・ 防 災 施 策

① 常 備 消 防 費

新発田地域広域事務組合負担金	671,747	
（消防施設整備事業）	（6,372）	老朽化した施設設備を改善し、環境整備に努めるとともに、事務の合理化現場の充実を図った。
（消防設備整備事業）	（45,699）	消防ポンプ車、救急車及び資機材搬送車等を整備し、消防活動の強化を図った。
（通信指令システム整備事業）	（6,584）	複雑多様化する災害に対応するため、通信設備を整備し、初動体制の迅速化を図った。
（職員研修事業）	（2,069）	救急救命士を養成し、救急医療体制の強化を図った。
（消防ふれあい広場事業）	（535）	<p>幼年消防ふれあい広場 幼年期における防火教育の重要性を考慮し、火遊びの防止と防火思考の普及並びに消防の仕事に対する理解を深めるため開催した。</p> <p>実施日 平成14年6月14日 参加者数 842人</p>

② 非 常 備 消 防 費

消防団活動推進事業	9,521	円滑な消防団活動を推進するため、研修、訓練及び被服等の充実を図った。
-----------	-------	------------------------------------

消防団員福祉対策事業	33,026	団員の福祉厚生対策を推進し、消防団の活性化を図った。
消防団員報酬及び費用弁償	42,253	消防団員の報酬及び災害出動や災害予防活動における費用弁償 団員の資質向上を図るための訓練、研修費

③ 消防施設整備事業費

消防施設設備整備事業	14,458	消防施設を整備するとともに、消火栓を設置し、消防力の強化を図った。
消防団装備拡充事業	6,008	消防動カポンプ及び資機材の軽量化を図り、装備の拡充に努めた。
防災基盤整備事業	12,921	耐震性防火水槽40tを整備するとともに、小型動カポンプ積載車を配備し、消防力の整備に努めた。

④ 防 災 費

防災対策事業	2,783	防災機関・団体等との総合防災訓練及び防災施設設備等を整備し、防災体制の強化に努めた。
市民防災活動普及事業	2,213	防災訓練等を実施し、防災意識の啓発普及を図るとともに、防災協会の拡大及び運営を支持し、災害時の人的被害の軽減に努めた。
(防災フェスティバル開催事業)	(2,100)	新発田市防災フェスティバル2002 市民に防災の理解と防火意識の高揚を図るため開催したもので、市民の参加率が目標値を超え、多くの市民に防災意識の啓発が図られた。 実施日 平成14年7月27日 参加者数 8,288人
災害備蓄整備事業 (地域安全課 1,647) (維持管理課 939)	2,586	災害備蓄物資を計画的に整備し、災害発生時における迅速な応急活動をすめために、砂利や砂を備蓄した。

## (11) 教育施策

### ① 教育総務費

指導強化事業	3,696	時代の要請に応じた学校・幼稚園教育を図るため、指導主事2人により、小・中学校教職員に対する指導及び助言を行った。
人材育成事業	14,085	(財)新発田育英会が運営している学生寮の再建及び管理に対して補助を行った。
学生緊急援助資金貸付金	960	(財)新発田育英会が運営している学資援助者の失職等によって修学が困難になった学生に対する貸付事業の原資を貸し付けた。貸付 3件
新 産業人育成支援事業	1,000	(財)新発田育英会の新規事業である中小企業従業員等の研修費用を助成する事業の原資を補助し、産業人としての能力開発を推進した。
同和教育推進事業	138	基本的人権尊重の精神を養い、不合理な差別や偏見の解消を目指す同和教育を推進した(小中学校2校)
教育振興対策	5,080	父母の教育費負担の軽減と私学(新発田中央高校)の振興に努め、教育の資質向上を図った。
(新発田中央高校助成)	(3,910)	
(盲学校・聾学校・養護学校就学援助)	(1,170)	
新発田市学校研究推進事業	800	新発田市立学校教育研究協議会に対し補助金を交付した。同協議会は各種研修、感想文集の発行等を実施した。
新 五十公野公園植物ガイドブック作成事業	2,291	五十公野公園内にある植物を掲載したガイドブックを作成し、児童生徒等に自然の美しさや、環境について紹介した。 2,000部製本、市内小中学校へ配布
新 東豊小学校区学区等検討事業	100	東豊小学校区の中学校分離問題や西新発田駅前の宅地開発など全市的に調査し、見直しを検討した。

### ② 小学校費

チャレンジ21教育推進運動事業	0	やる気、元気、総合的学習支援事業の開始に伴い、本事業は終了となった。
情操教育推進事業(みどりの新発田っ子プラン推進事業)	6,282	小学校全校を対象に、保護者や地域住民の協力を得て、各校の特徴を生かし、子どもたちの豊かな情操を育む教育を支援した
登校拒否児童生徒適応指導教室設置事業	6,572	小中学校の不登校児童生徒の問題解決に向けた指導教室を運営し、学校における不登校対策を実践した。



教育用コンピュータ整備事業	10,470	IT教育のより一層の推進を図るため、1人1台のパソコンを設置し、光ケーブル回線を接続した。(整備校、御免町小)
小学校施設整備事業	57,980	漏水改修工事など、14件の小学校の学校施設の補修・整備工事を行い、教育環境の向上を図った。また、七葉小学校の耐震診断(診断面積約3千㎡)を実施した。
七葉小学校プール移転改築事業	27,657	狭あいな敷地状況での体育活動を解消するため、隣接地にプールを移転整備し、教育環境の向上を図るための地質調査・用地造成等を行った。 造成面積 約 3,500㎡
新 やる気、元気、総合的学習支援事業	10,164	県補助事業として、自ら学び考え主体的に判断し的確に表現し行動する児童の資質や能力などの育成を図った。 小学校全校で実施

### ③ 中学校費

外国青年招致事業	7,276	外国人による英語指導助手を2人配置し、中学校全校における英語教育の充実と国際理解教育の推進を図った。
チャレンジ21教育推進運動事業	0	「やる気、元気、総合的学習支援事業」の開始に伴い、本事業は終了となった。
情操教育推進事業(みどりの新発田っ子プラン推進事業)	2,338	中学校全校を対象に、保護者や地域住民の協力を得て、各校の特徴を生かし、子どもたちの豊かな情操を育む教育を支援した。
心の教室相談員活用調査研究事業	1,532	中学校5校を対象に、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできるよう相談員を学校に配置し、生徒の心身の安定を図った。
中学校施設整備事業	24,441	前庭舗装整備工事など、13件の中学校の学校施設の補修・整備工事を行い、教育環境の向上を図った。
新 やる気、元気、総合的学習支援事業	4,476	自ら学び考え主体的に判断し的確に表現し行動する児童の資質や能力などの育成を図った。中学校全校で実施。

### ④ 幼稚園費

教育振興対策	28,167	私立幼稚園の振興に努め、教育の資質向上を図った。
(私立幼稚園就園奨励費補助)	(26,167)	対象 385人
(私立幼稚園補助)	(2,000)	対象 4園

新 西園幼稚園移転事業	3,864	老朽化の著しい園舎を旧猿橋小学校校舎へ移転し、教育環境の向上を図るため、移転改修工事の実施設計を行った。
-------------	-------	--

⑤ 学校給食費

学校給食調理場整備事業	3,589	漏水改修工事等の工事を10件実施し、学校給食施設における施設設備の改善を図った。
-------------	-------	--

⑥ 社会教育総務費

新 かわいい子には旅実行委員会事業	232	学校週5日制の完全実施を機に、学校、家庭、地域、行政が連携し、地域教育力の醸成を図るための協議の場を設けた。
新 教育広報誌発行事業	523	完全学校週5日制に対応した体験活動情報誌「しばたっ子」を2回発行し市民に提供した。
新発田の歴史資料展	644	「城下町新発田の暮らし」をテーマに歴史資料などを展示するとともに講演会を開催し、新発田の歴史を紹介した。 開催日 10月31日～11月4日 入場者数 2,458人
歴史的遺産活用事業	486,161	平成16年度竣工予定の新発田城三櫓・辰巳櫓の復元及び石垣補強工事を実施した。また市民団体「新発田城復元の会」に補助を行い、復元情報を市内外にPRした。
市指定文化財保存修理事業	3,548	市指定文化財のしばた台輪及び職人町獅子舞の保存修理に対し補助を行った。
市内遺跡発掘調査事業	34,502	開発地の遺跡について事前に発掘調査を行い、記録を残すとともにその出土品の保存と活用を行った。

⑦ 保健体育総務費

生涯スポーツ振興事業	1,718	春(6教室)・夏(1教室)・秋(6教室)・冬(5教室)のスポーツ教室(延べ4,855人参加)及び夜のスポーツ教室を11教室(延べ508人参加)を開催し、生涯スポーツ活動のより一層の普及促進を図った。
市民健康づくり運動大会事業	1,000	本年竣工し装い新たになったグリーンスタジアムしばた『五十公野公園陸上競技場』で25団体、延べ1,200人の参加を得て、秋晴れのもと実施した。
国際ユースサッカーIN新潟開催事業	1,400	2巡目国体の競技力強化とスポーツの振興を目的に県・開催市町村・県サッカー協会などが連携して、国際ユースサッカー大会を開催した。当市会場の五十公野公園陸

指導者育成事業	1,171	上競技場では2試合が行われた。 社会体育指導者の指導力の向上を図るため、指導者研修会開催や参加に努めた。
体育団体の育成	2,070	新発田市体育協会をはじめ、各種目別競技大会、スポーツ少年団等を支援し、スポーツの振興を図った。
市民総合体育大会の開催	1,275	スポーツ人口の底辺拡大と生涯スポーツの基盤づくりの一環として例年開催しており、本年度は17種目で実施した。
少年少女スポーツ大会の開催	430	本年度は7種目、延べ1,576人(128チーム)の参加を得て、青少年の健全育成と少年少女のスポーツ振興に努めた。
地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業	3,000	平成21年2巡目新潟国体に向けた競技力強化事業として、県の支援を得てラビー競技及びサッカー競技のジュニア層育成強化に取り組んだ。

#### ⑧ 体育施設費

体育施設の維持整備事業	2,855	下高関河川敷の野球場等各種スポーツ施設の維持整備に努めた。
新 五十公野公園陸上競技場2種公認取得事業	40,249	改修工事が完了し、日本陸上競技連盟2種公認競技場として認定を受けることができた。
新 五十公野公園陸上競技場竣工記念事業	2,500	7月7日に約10,000人を集め、五十公野公園陸上競技場の竣工を祝った。

#### ⑨ 公民館事業費

公民館事業	6,723	市民が心豊かにいきいきとした生活を送り、人生に喜びを感じることができるよう、気軽に学習できる機会と場を提供するとともに、学んだ成果を発表できるように援助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民教室、菖城大学、女性セミナー、オムレツクラブなど生涯各期における学習機会の提供</li> <li>・市展、市民茶会、文芸しばたの発行など芸術文化の振興</li> <li>・成人式、公民館まつり、市民レクリエーション大会など各種大会等の開催</li> <li>・公民館利用者数 102,736人</li> </ul>
-------	-------	--

#### ⑩ 市民文化会館事業費

教育鑑賞事業	20,902	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することを通じて、市民の芸術・文化活動の振興を図った。
--------	--------	--

文化創造事業	1,261	<p>6/19 新発田あやめ寄席 772人  7/ 4 綾戸智絵コンサート 936人  8/9～8/11優秀映画事業 69人  8/ 2 スタービーズ・ミュージカル 454人  8/17 A U Nコンサート 494人  12/ 1 第19回メサイヤ 481人  3/ 8 音楽のおくりもの(2回公演) 768人</p> <p>市内の文化団体に、日頃の活動成果発表の場を提供することにより、市民の自主的な芸術・文化活動の育成に努めた。</p> <p>5/12 琴・三弦・尺八演奏会 255人  6/16 ライトミュージックコンサート 252人  6/22 市民音楽会 317人  7/21 合唱のつどい 355人  9/ 1 高校音楽祭 450人  9/15 市民演劇祭 450人  10/13 秋を彩るバレエ 567人  10/13 ダンス&amp;ダンス 377人  11/ 3 秋の民謡と踊り 843人  11/10 マジック文化祭 370人  11/17 能楽鑑賞会 156人  11/24 詩吟・吟舞・鍼のつどい 353人  2/10 高校演劇 83人</p>
全国「花嫁人形」合唱コンクール実施事業	5,600	<p>当市出身の画家で詩人でもある落谷虹児が作詞した童謡「花嫁人形」を課題曲にした合唱コンクールを市民ボランティアと力を合わせて開催することにより、新発田市を全国に向けて発信し、合唱活動をはじめとする市民の芸術・文化活動の振興を図るとともに、市民と行政の共創によるまちづくりの推進に努めた。</p> <p>参加合唱団 26団体  参加人数 361人  入場者数 858人</p>
新 文化会館施設整備事業	32,500	<p>市民文化会館設備改修  冷却塔入替え工事を実施した。</p>

⑪ 図書館費

図書類購入	11,735	<p>生涯学習の中核的施設としての機能を果たすため、市民の要望にそった図書資料及び視聴覚資料の充実を図った。</p> <p>図書資料 5,717冊、CD 223枚  DVD 5枚、ビデオ 201巻  マイクロフィルム(新聞) 20巻</p>
新 公共下水道排水設備事業	5,408	<p>公共下水道が供用できるようになったことにより、排水設備を敷設した。</p>

## 2 土地取得事業特別会計

平成14年度決算は、歳入歳出決算額で82,904千円となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
土地取得事業費	71,649	公共用又は公共の利益のために必要な土地を先行取得することにより、土地利用の円滑化を図った。
土地開発基金積立金	36	
土地開発基金償還金	11,219	

## 3 国民健康保険事業特別会計

平成14年度決算は、歳入決算額で5,876,916千円（前年比2.2%減）、歳出決算額で5,451,103千円（前年比0.4%減）となり、実質収支で425,813千円の黒字決算となりました。

### 1. 保険給付費

事業名	決算額(千円)	成果説明
(1) 療養諸費	2,771,278	被保険者の診療費に係る法定給付を行った。 被保険者のコルセット代等の法定額を支給した。
① 療養給付費 （一般被保険者） （退職被保険者）	2,736,944 (1,780,755) (956,189)	
② 療養費 （一般被保険者） （退職被保険者）	17,029 (9,353) (7,676)	
③ 審査費	17,305	
(2) 高額療養費 （一般被保険者） （退職被保険者）	321,476 (266,667) (54,809)	被保険者が、同一の医療機関で1ヶ月72,300円（市民税非課税世帯については35,400円）以上の医療費を支払った場合に、その超えた額を償還した。
(3) 出産育児一時金	27,000	1件 300,000円 × 90件
(4) 葬祭諸費	19,760	1件 40,000円 × 494件

### 2. 老人保健拠出金

老人保健医療費拠出金	1,295,611	70歳以上の者及び65歳以上70歳未満の寝たきり等の状態にある者の医療費として支払基金へ拠出
老人保健事務費拠出金	26,561	

### 3. 趣 旨 普 及 費

趣旨普及費	200	○ 広報しばたに国保特集記事を掲載 ○ 外国人向けパンフレット、制度理解パンフレット等配付
-------	-----	--

### 4. 保 健 事 業 費

保健事業費	34,125	
(1) 人間ドック検診助成事業	30,271	2/3 助成 1日ドック @24,500円 半日ドック @21,700円
(2) 肺ガン検診助成事業	541	2/3 助成 @ 1,890円
(3) 骨粗しょう症検診助成事業	229	1/2 助成 @ 1,512円
(4) 運動普及推進事業 (健康づくり啓発活動)	400	中高年レクリエーション事業、3世代交流事業
(5) エイズ予防事業	1,000	パンフレット配付
(6) 医療費通知による適正医療 推進事業	1,625	
(7) 在宅医療等推進支援事業	59	在宅医療該当者リスト提供のための使用 電話料

### 5. 医療費適正化対策事業

医療費適正化対策事業	4,357	レセプト点検専門職嘱託報酬等
------------	-------	----------------

### 6. 介 護 納 付 金

介護給付費納付金	262,076	平成14年度分納付金分 (社会保険診療報酬支払基金へ)
----------	---------	--------------------------------

## 4 老人保健特別会計

平成14年度決算は、歳入決算額で6,945,715千円(前年比0.1%増)、歳出決算額で6,717,934千円(前年比0.4%増)となり、実質収支で227,781千円の黒字決算となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
老人医療給付事業	6,383,615	老人医療施策として、高齢者の健康保持と適切な医療の確保を図り、高齢者福祉の増進を図った。

## 5 介護保険事業特別会計

平成14年度決算は、歳入決算額で3,615,823千円（前年比6.1%増）、歳出決算額で3,595,626千円（前年比11.6%増）となり、実質収支で20,197千円の黒字決算となりました。

### 1 居宅介護サービス給付費

事業名	決算額(千円)	成果説明
保険給付費	3,211,751	
(1) 介護保険サービス等諸費	3,113,113	
①居宅介護サービス給付費	944,659	訪問介護等の支援サービス費の給付
②施設介護サービス給付費	2,066,422	特別養護老人ホーム等の施設サービス費の給付
③居宅介護福祉用具購入費	4,085	福祉用具購入費の給付
④居宅介護住宅改修費	15,850	住宅改修費の給付
⑤居宅介護サービス計画給付費	82,097	居宅介護サービス計画費の給付
(2) 支援サービス等給付費	79,974	
①居宅支援サービス給付費	63,315	訪問介護等の支援サービス費の給付
②居宅支援福祉用具購入費	600	福祉用具購入費の給付
③居宅支援住宅改修費	2,806	住宅改修費の給付
④居宅支援サービス計画給付費	13,253	居宅介護サービス計画費の給付
(3) 審査支払手数料	5,561	国保連合会への給付審査支払手数料
(4) 高額介護サービス費	13,103	利用者負担金のうち一定の限度額を超えた高額サービス費の支給

### 2. 財政安定化基金拠出金

財政安定化基金拠出金	16,333	保険財政の安定化を図るために、県が設置した基金への拠出金
------------	--------	------------------------------

### 3. 趣旨普及費

趣旨普及費	568	介護保険リーフレット
-------	-----	------------

### 4. 介護認定審査会費

介護認定審査会費	18,724	広域事務組合への認定審査会共同設置負担金
----------	--------	----------------------

## 6 駐車場事業特別会計

平成14年度決算は、歳入決算額で18,513千円（前年比2.1%減）、歳出決算額で59,821千円（前年比15.2%減）となり、実質収支で41,308千円の赤字決算となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
駐車場事業	8,499	駐車場の利便性を高め、時間貸し、定期駐車利用の促進を図り、市営上町・中央パークキングの健全運営に努めた。

## 7 宅地造成事業特別会計

平成14年度決算は、歳入決算額で19千円（前年比280.0%増）、歳出決算額で142,789千円（前年比0.1%減）となり、実質収支で142,770千円の赤字決算となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
宅地造成事業	215	本会計で所有している事業用地の除草など維持管理に努めた。
前年度繰上充用金	142,574	

## 8 公共用地先行取得事業特別会計

平成14年度決算は、歳入歳出決算額で98,207千円となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
公共用地先行取得事業	98,207	駅前再開発用地及び城北町街路代替用地の元利償還金



## 9 農業集落排水事業特別会計

平成14年度決算は、歳入決算額で1,189,327千円（前年比16.9%減）、歳出決算額で1,189,231千円（前年比15.6%減）となり、実質収支で96千円の黒字決算となりました。

### 1 管理費

事業名	決算額(千円)	成果説明
農業集落処理施設管理運営費	65,989	米倉処理区、荒川処理区、松浦処理区 石喜処理区、菅谷処理区、内竹処理区 島潟処理区（新規供用開始） 計 7 処理区

### 2 事業費

菅谷地区整備事業 整備事業費 53,188 千円 人件費割当 230 千円	53,418	県単緊急整備事業 管路施設工事 L= 261m 舗装復旧工事 一式
内竹地区整備事業 整備事業費 125,899 千円 人件費割当 279 千円	126,178	県単緊急整備事業 管路施設工事 L= 108m 舗装復旧工事 一式 中継ポンプ設置工事 1基
島潟地区整備事業 整備事業費 586,380 千円 人件費割当 2,600 千円	588,980	一般補助事業 管路施設工事 L= 2,068m 処理場外構工事 一式
中井地区整備事業 整備事業費 96,351 千円 人件費割当 962 千円	97,313	一般補助事業 実施設計 一式 試掘工事費 一式 ガス・水道管移設等補償 一式
新 上中山地区整備事業	1,890	単独事業 新規採択調査設計委託
新 三光地区整備事業	2,730	単独事業 新規採択調査設計委託
施設整備事業	4,138	農業集落排水施設台帳作成委託等

## 10 下水道事業特別会計

平成14年度決算は、歳入歳出決算額は3,172,578千円（歳入は前年比13.4%増、歳出は前年比17.3%増）となりました。

### 1. 管理費

事業名	決算額(千円)	成果説明
下水道管理費	6,897	総務管理費

	6,817 1,224	下水道施設維持管理費 受益者負担金賦課徴収費
--	----------------	---------------------------

## 2 事業費

県事業負担金	237,007	阿賀野川流域下水道（新郷川処理区）及び同関連公共下水道事業推進により新発田川等の公共水域の水質保全及び快適な生活環境の整備に努めた。
公共下水道事業（単独事業）	915,438	阿賀野川流域下水道（新郷川処理区）建設事業負担金 ○一般事業 枝線管渠等工事 φ150~200（開削） L= 5,188m ガス・水道管移設等補償 一式
国庫補助公共下水道整備事業	1,608,034	○緊急下水道整備特定事業 枝線管渠等工事 φ150~200（開削） L= 2,410m ガス・水道管移設等補償 一式
整備事業費 1,582,034千円 人件費割当 26,000千円		○一般補助事業 中央汚水枝線管渠工事 φ150~400（開削） L= 2,807m 東部1号汚水幹線管渠工事 φ800~900（推進） L= 1,655m 東部1号汚水幹線管渠工事 φ 200 （開削） L= 50m 北部汚水枝線管渠工事 φ100~200（開削） L= 2,792m マンホールポンプ設置工事 3基 実施設計委託 一式 ガス・水道管移設等補償 一式

## 1 1 地域下水道事業特別会計

平成14年度決算は、歳入歳出決算額で38,430千円（前年比7.2%増）となりました。公共下水道の供用開始にともない、本事業を下水道事業特別会計に移行することとし、本会計は今年度をもって閉鎖する事になりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
地域下水道管理運営費	38,430	新栄町地区内の快適な生活環境の整備を図るため、汚水処理施設等の管理運営を行った。

## 1 2 西部工業団地造成事業特別会計

平成14年度決算は、歳入決算額で549,336千円（前年比96.6%増）、歳出決算額で1,417,960千円（前年比65.6%増）となり、実質収支で868,624千円の赤字決算となりました。

歳入のうち土地売却収入については、1社に面積3,026.05㎡を売却し、総額74,822千円の収入となり、全体の売却率は42.38%となっています。

事業名	決算額(千円)	成果説明
西部工業団地造成事業	1,417,960	工業の振興と雇用の拡大、若者の定着を図るため、西部工業団地の早期完売を目指し、積極的に企業誘致活動を推進した。
事業費	(7,173)	企業誘致の推進、工業団地の整備及び維持管理を行った。
公債費	(472,053)	市債の定期償還を行った。 償還元金 419,187千円 償還利子 52,866千円 (償還金残高 1,438,712千円)
前年度繰上充用金	(469,367)	前年度赤字決算に係る繰上充用を行った。
一般会計償還金	(469,367)	一般会計からの借入に対し償還を行った。

## 1 3 簡易水道事業特別会計

平成14年度決算は、歳入歳出決算額で、39,436千円（前年度比1.9%増）となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
市営簡易水道事業	39,436	中々山地区、滝谷新田地区、上赤谷地区及び板山地区4施設の維持管理・運営を行った。

## 1 4 水 道 事 業 会 計

平成14年度決算は、収益的収支（税抜額）の収入で1,667,325千円（前年度比2.3%減）、支出では1,591,706千円（前年度比1.9%減）となり、損益で75,619千円（前年度比11.0%減）の純利益となった。資本的収支（税込額）の収入で1,371,260千円（前年度比2.6%増）、支出では1,980,899千円（前年度比2.8%増）となり、609,639千円の収入不足額は積立金等で補てんした。

### 建設改良費

事 業 名	決算額(千円)	成 果 説 明
第5期拡張事業 (配水管布設工事)	370,001 (318,313)	未普及地域解消の第5期拡張事業を進めた。 6件φ30~200 2,745m、 配水管添架工事5件 増圧ポンプ場1棟 ポンプ3台他一式
(実施設計委託料)	(50,674)	水道管布設工事及び増圧ポンプ場工事等 実施設計委託
(用地費)	(1,014)	増圧ポンプ場用地 1件 533.84 m <sup>2</sup>
国・県・市町村関連配水管入替 事業	273,785	55件φ30~150 6,760m
配水管整備事業	18,522	配水管整備工事4件φ50~75 348m他
老朽管更新事業	169,584	年次計画による老朽管入替工事を実施した。
(配水管入替工事)	(162,234)	13件 φ30~400 3,924m
(実施設計委託料)	(7,350)	実施設計委託
消火栓設置工事	12,034	消火栓設置16基、消火栓移設 4基
浄・配水施設整備事業	58,737	浄水場、配水場の施設整備工事を実施した。
小舟渡配水場整備事業	574,978	小舟渡配水場整備事業を実施した。
(配水管布設工事)	(565,528)	配水場のポンプ設備、電気機械設備工事 及び配水管布設工事 7件φ50~400、2,285m ポンプ4台 電気計装 一式
(実施設計委託料)	(9,450)	実施設計委託
新 荒川地区整備事業	60,000	荒川地区上水道整備事業を実施した。
(配水管布設工事)	(56,135)	2件φ30~150 2,064m
(実施設計委託料)	(2,835)	実施設計委託
(用地費)	(1,030)	増圧ポンプ場用地 1件、231m <sup>2</sup>